

ノヤマ通信

vol.12 (2023.皐月)



森のようちえんヒュッテ

【4月の活動場所：13日タケノコ掘り、17日桂川渓谷、20日たこやき島、27日山の基地】



▲4/13のタケノコ掘りでは、お母さんたちも真剣にタケノコと格闘しました！

●活動を見つめるコラム

「海はふしぎ！」

西予市明浜町にあるたこやき島は、大潮の干潮時に陸続きになる場所。春～夏にかけては生きものも豊富になるので、森のようちえんの活動で定期的に出かけています。

目の前が海、という場所で暮らしている人は別ですが、多くの人にとって、海はちょっとした「非日常」を味わえる場所ではないでしょうか。寄せては返す波、潮の満ち引きによる景色の変化、しょっぱい海水、普段はみかけない姿・形の生きものとの出会い…。海には「ふしぎ」がいっぱいで、子どもたちにとっても様々な刺激が溢れている場所です。

(自然に対する好奇心を持ち続けることの大切さを描いた『センス・オブ・ワンダー』の著者、レイチェル・カーソンが海洋生物学者だった、ということにもなんだか納得感があります。)

次に出かけたときも、親子でいろんな「ふしぎ」を楽しみましょう😊。



▲4/20 森のようちえん@たこやき島

🧤🧤 山の基地

【4月に行った活動：6日日常管理、9日開放日、19日日常管理、26日日常管理】

●小屋の天井にコガタズメバチの巣を見つけたので、ハチ用のスプレーで処置をしました。巣はそのままにしてありますが、ハチの出入りする様子はなくなりました。



●大雨の影響で、山の基地に至る林道の地面が削れてガタガタに😞。少しずつ土砂を運んで直していますが、タイヤのパンクが心配なので、しばらくは下の駐車スペースに車を置いて、歩いて基地まで上がることをおすすめしています。



●4/9の開放日に子どもたちが沢でたくさんカニを集めていました。春に産まれたばかりの小さいカニがたくさん見つかりました。



●剪定したキウイの枝から新しい葉っぱがニョキニョキと出ています。あれだけ切ったのに、たくましい！近頃は、余分なつぼみを摘2だり、枝をはわせる鉄線のたるみを少しずつ直したりしています。



✿✿ その他の活動

●蔵貫白石鍾乳洞周辺の植物調査

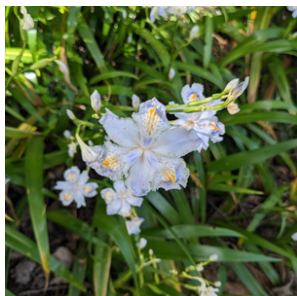
昨年度おこなった植物調査の結果をとりまとめて報告書を提出しました。近々、住民向けの報告会を行う予定です。

●上松葉奥池ビオトープの管理

イベントの開催に備えて、ビオトープの園路の草刈りを行いました。※イベントは雨天のため5/14に延期となりました。

🌱 いきもの情報

活動の中で出会った生きものたちを紹介します。



シャガ

4～5月にかけて、林の木陰などで花を咲かせます。中国原産の帰化植物です。(4/17山の基地)



ヒザラガイ

磯の岩にひっついてる軟体動物（貝の仲間）。じっと見ていると、ゆっくり動くのがわかります。高知県西部では、食べる風習があるそうです。(4/20たこやき島)



ヒメアカタテハの幼虫

トゲトゲした見た目にドキリとしますが、毒はなく、刺すこともないのでさわっても平気です。ヨモギの葉っぱに多いようです。(4/27山の基地)



ホソミオツネトンボ

あざやかな水色が印象的なイトトンボの仲間。トンボにしては珍しく、成虫のまま冬を越すので、越冬（えつねん/おつねん）の名がついています。(4/28上松葉)

🐣 よもやま話

●いつかやりたいとずーっと思っていたぬか漬づくり。ついに重い腰を上げてぬか床づくりを始めました。最近ではすでに完成したぬか床を買うこともできますが、我が家は毎日精米してご飯を炊いているので、定期的に米ぬかが溜まっていきます。それはそれで、キエーロ（コンポスト）の分解を早めるために使っていたのですが、せっかくなので、ぬか床を作るところから始めてみることにしました。少し前の新聞で、こんにやくなどを漬けても楽しいとあったので、とても楽しみです。まずは、ぬか床が無事に完成すればの話ですが……！（ち）



●NHKの朝ドラの『らんまん』、我が家でも楽しく見えています。主人公の槇野万太郎のモデルの牧野富太郎は、日本の植物学の父と呼ばれ、生物学の世界では有名人です。高知の牧野植物園もよい所なので、また時間ができたら行きたいなあと思っています。(ゆ)



高知で見つけたポスター



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

✉ noyama.company@gmail.com